

## VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	音楽劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	さかいしていおぺら いっぱんしゃだんほうじん 堺シティオペラ 一般社団法人		
代表者職・氏名	代表理事(会長) 葛村和正		
制作団体所在地	〒 591-8037		
	堺市北区百舌鳥赤畑町4-256		
電話番号	072-254-1151	FAX番号	072-254-1171
ふりがな 公演団体名	さかいしていおぺら いっぱんしゃだんほうじん 堺シティオペラ 一般社団法人		
代表者職・氏名	代表理事(会長) 葛村和正		
公演団体所在地	〒 591-8037		
	堺市北区百舌鳥赤畑町4-256		
制作団体 設立年月	1978年4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事(会長) 葛村和正 代表理事(理事長) 坂口茉莉 副理事長 水谷雅男 理事 7名	代表理事2、副理事長1、理事7、監事2、評議員23、一般会員321	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	奥野恵子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	小林敦子

制作団体沿革	<p>1978年 市民オペラとして活動を開始  1986年 堺市民オペラ協会発足。以後毎年オペラ定期公演を上演  1989年 堺シテリオペラと改称  1995年 ドイツのケム ニッツ歌劇場と『魔笛』を共同制作し、堺とケムニッツの2カ所で公演  2006年 イタリア プッチーニフェスティバル(共同公演) プッチーニ作曲『蝶々夫人』  日本の音楽団体として初めての参加  2009年 社会的な信用を更に深め責任ある団体としてオペラを通じ、音楽芸術の普及・向上をはかり地域の芸術文化発展に寄与していくことを目標にかかげて法律に準拠した非営利の法人格を取得  2013年 オーストリア ウィーン公演(共同公演)「日本のオペラ&amp;狂言コンサート」  林 光 作曲『おこんじょうり』  2019年 オーストリア 日本・ウィーン国交150周年記念コンサート Juhu</p>		
学校等における公演実績	<p><b>文化庁巡回公演事業</b>  2020年度(巡回公演 6公演)、2021年度(巡回公演 9公演)  <b>堺市文化振興財団 さかいミーツアート事業</b>  2019年度(3公演)、2020年度(3公演)、2021年度(2公演予定)  <b>堺市文化振興財団 さかいアートスクール事業</b>  2016年度(1公演)、2017年度(1公演)、2018年度(3公演)  <b>堺市舞台芸術体験による被災地支援事業</b>  2016年度(3公演)、2017年度(3公演)  <b>小学校芸術鑑賞オペラ</b>  2015年度(1公演)、2017年度(1公演)、2018年度(1公演)、2019年度(2公演)</p>		
特別支援学校における公演実績			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有
		※公開資料有の場合URL	<a href="https://youtu.be/sgPLLvSHRww">https://youtu.be/sgPLLvSHRww</a>
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	
		※公開資料有の場合URL	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 堺シテオペラ 一般社団法人】

対象	○	小学生(低学年)	○	中学生
	○	小学生(中学年)		
	○	小学生(高学年)		
企画名	オペラ『おこんじょうり』 ～堺シテオペラオリジナルバージョン～			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>オペラ「おこんじょうり」～堺シテオペラオリジナルバージョン～</p> <p>原作:さねとうあきら 作曲:林光 演出:茂山 千三郎 演出補助/構成:坂口 菜里</p> <p>《あらすじ》 ■昔ある村に、ひとりぼっちで目の見えない病気のいたこばさまがいた。その家に腹をすかせた“おこん”というお腹をすかせた子ぎつねが餌を盗みに忍び込んだ。だが、ばばさまは、じっさからもらったなげなしのお弁当まで食べさせた。きつねは感謝し、じょうりの念力で、ばばさまの病気を治してやった。それから二人は助け合って暮らし始めた。ばばさまはおこんのじょうりに合わせて口を開け、ばばさまが語っているように見せかけた。ばばさまの神通力がうわさとなり、お姫様の命を救った。そして殿様から褒美をいただいた。その帰り道、盗賊に襲われ、おこんはばばさまの身代わりとなって死んでゆく・・・ ■寂しいもの同士が、運命的な出会いにより一時幸せな暮らしを送るが、最後は悲劇的な結末でありながら、心温まる感動的な結末の物語。</p> <p>公演時間( 50分)</p>			
著作権		制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	<p>オペラ「おこんじょうり」 原作:さねとうあきら 創作民話絵本 作曲:林光</p> <p>《セールスポイント》 ヨーロッパで生まれたオペラが本来のルーツになりますが、日本に伝わる民話を基に日本人の作曲した1幕仕立ての切なくも愉快で感動的な邦人作品。演奏時間は50分で完結するが、堺シテオリジナルでは、過去のウィーン公演で取り入れた林光 Song より数曲(子どもたちのなじみやすい曲)をオペラが始まる前に合唱し、オペラの導入とします。日本では、オペラは西洋貴族の娯楽として認識されていて敷居が高く、一般の家庭では子ども達あまり体験する機会がないことが現状です。この演目では、日本の物語をベースにオペラとして作曲された邦人作品があることを紹介します。</p>			
演目選択理由	<p>オペラ「おこんじょうり」は、日本を代表する作曲家の一人である林光氏が作曲しました。日本のクラシック音楽と古典芸能を子どもたちにも知ってもらいたく、こちらの演目を選択いたしました。オペラを通じて日本人の持つ“和”の心や日本の古くから伝わる独自の文化を子どもたちに紹介していきたいと考えております。</p> <p>オペラは音楽、文学(台本)、演劇(演出)、美術(舞台美術や衣装)、舞踏など複数の分野の芸術の混在によって創造される一つの統一された総合芸術であり、一度に様々な分野の芸術に触れ合う事が出来る芸術媒介です。しかし、オペラに対して人々が持っている敷居の高さが邪魔をして、なかなか社会に浸透する事が出来ません。「おこんじょうり」は日本の創作民話をベースにしており子どもたちも馴染みがやすい作品です。また、昔話という事も日本の伝統的な物がステージの上で息吹を吹き込まれ歌と演劇を通して現実存在するものとなります。プロの歌手、演奏家、スタッフで作り上げるステージを子ども達と同じ場所で体験して自分の感覚として捉えてもらいます。また、ワークショップを通して人間の持つ声の魅力を理解することによって舞台上での物語を更に楽しむことを学びます。生のオペラ公演を目の当たりに見ることで、芸術に携わる様々な仕事の存在も知ることができます。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>専門的なトレーニングを積んでいない子ども達でも気兼ねなく“歌”を通してオペラ公演に参加していただきます。難しい演技や歌唱を求められる事はなく、事前のワークショップを通して歌を覚えていただき、当日の舞台に於いて発表していただく形になります。(新型コロナウイルス感染症対策のため、鑑賞している位置から動かさずに歌で参加出来る形を取ることも可能です。事前相談の時に参加のスタイルを決めて頂きます。)</p> <p>公演直前には鑑賞しているだけの子ども達も、見ている席で参加できるように、簡単な合唱指導を公演に先立って行い、演奏中に全校生徒でキャストの演唱と共に歌います。</p>			
出演者	<p>【登場人物】 こぎつね おこん(ソプラノ) 高嶋 優羽 イタコの ばばさま(メゾ・ソプラノ) 井上 美和 馬子の ごんすけ(テノール) 孫 勇太 獵師の じんざ(バリトン) 榎 貴志 指揮者:坂口 尚平 ピアノ:関口 康祐/木村 貴子 和楽器:調整中(2名)</p>			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 9 名	機材等 運搬方法		積載量: 3 t
	スタッフ: 11 名			車 長: 7 m
	合 計: 20 名			台 数: 1 台

【公演団体名 **堺シティオペラ 一般社団法人** 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み		有	会場設営の所要時間		3 時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～12時	13時30分～14時30分	なし	15時～16時	16時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時間分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		～ 200名程度（全校生徒を対象なども出来ますのでご相談ください）			
	本公演		～ 600名程度			
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>主指導者、ソプラノ、メゾソプラノ、テノール、バリトン/バスの歌手 4 名、ピアニストの合計6名で訪校      ◆オペラ作品を創り上げる工程をパワーポイントによるプレゼンテーションで紹介。      ◆和物所作指導。      ◆日本語の歌詞の扱い方の指導。オペラ歌手による発声練習や身体の使い方の指導を通して、自信を持った自己表現が出来る基礎を学んで頂きます。使用する曲は林光のソングを使用予定です。      (コロナ対策で舞台上での共演が難しい場合は、校歌や愛唱歌などを使って上記の指導を行います。事前相談で決めて頂けます。)</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>通常の学校音楽鑑賞教室などでは観客として公演を観て鑑賞することになり、受動的なコンサート体験になってしまいがちです。しかし、ワークショップでの実践的な経験を通して実際の公演に出演者として関わってもらいます。それによって、この公演に自ら積極的に携わっているという感覚を実感し、そのコンサート体験が子ども達にとって能動的なものになることを狙います。プロの歌手や音楽スタッフと共に制作プロセスを体験し、交流することにより、このような職種がある事を認識してもらい将来のキャリアに対する視野を広げられることも目的とします。ワークショップ体験を通して異文化や自分と異なる考えやアイデンティティを受け入れられる心を育てる機会となることを望んでいます。</p>					
特別支援学校での 実施における工夫点	<p>学校の実情、または生徒の心理的/身体的な制限に合わせて、ワークショップ内容を変更していきます。生徒一人一人が違う動きや作業をしなければいけない事になっても、引け目を感じずに心の底から楽しんで伸び伸びとした音楽体験が出来るように務めます。また、どんな身体的・精神的なバックグラウンドを持っていようとも、オペラなどの芸術分野で活躍出来ることを実証し、自信を持ってもらえるように配慮し指導を行います。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F74	分野	音楽	種目	音楽劇	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	堺シティオペラ 一般社団法人				制作団体名	堺シティオペラ 一般社団法人			

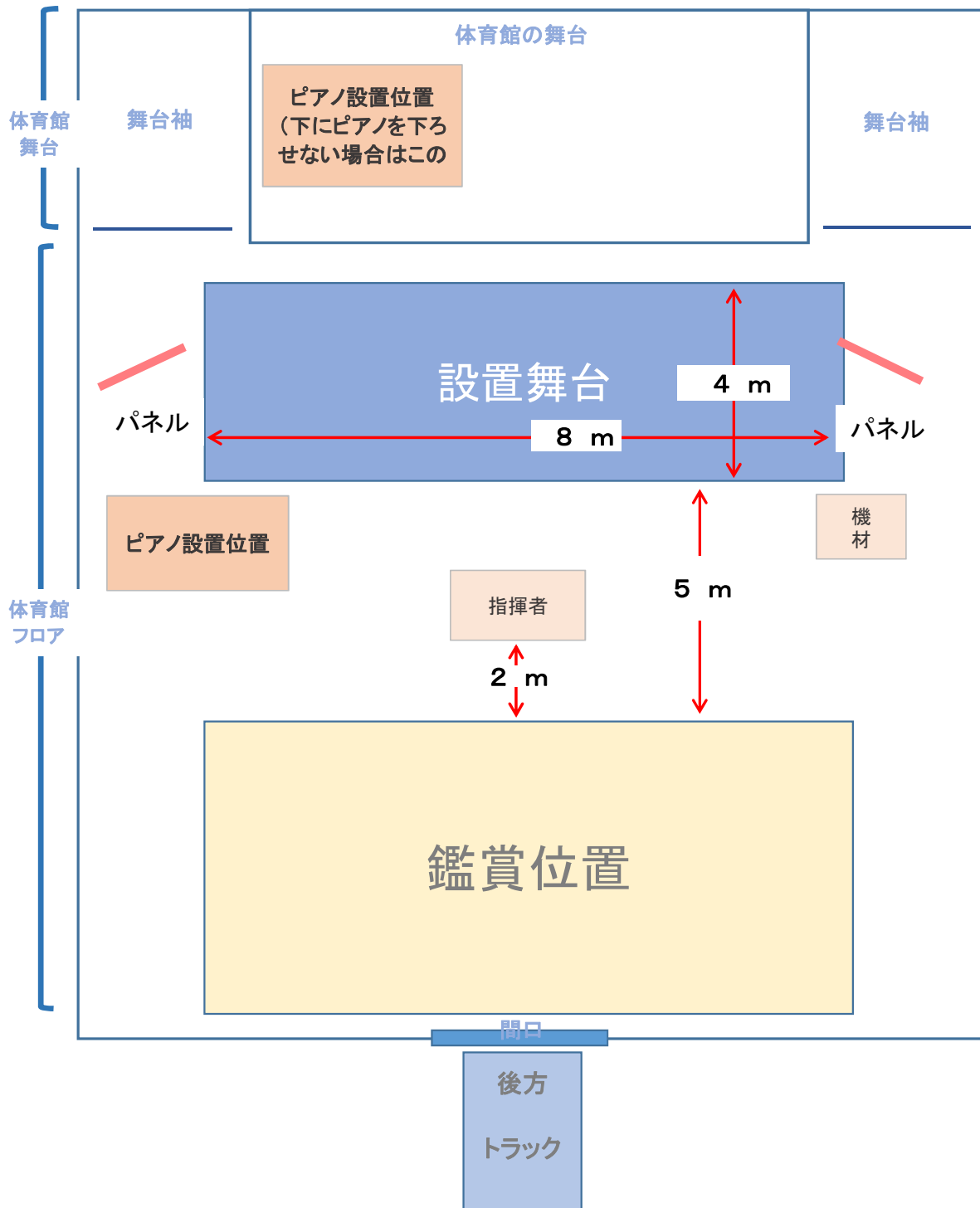
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	3室	条件	男性キャスト、女性キャスト、舞台スタッフの3部屋が必要です。着替えがあるのでもし可能であれば				可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			バン	2台	乗用車	4台	可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			乗用車に関しては台数調整可能です。地域によって乗用車の代わりに小型バスで来校させていただくこともあります。バンはハイエースロング(車高2.3m)になります。				/	
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			10m				可	
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				可	
	搬入経路の最低条件							—	
	理由							/	
	設置階の制限 *							—	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m		可	
WSIについて	参加可能人数	200名程度まで						可	
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *					—	
	所要時間の目安 単位:分	60分程度						可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				/	
	鑑賞可能人数			600名程度				可	
	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	奥行	高さ			—	
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物があっても、人が動いて待機				可
		緞帳 *		バトン *		不要			—
	遮光(暗幕等)の要否 *			理由				—	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			不可	
		ピアノの事前調律 *		要				不可	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量		60A	※主幹電源の必要容量				可	
その他特記事項							応相談		
3ヶ月以内にピアノの調律を行っていない場合は、必ず本公演前までに調律をお願いします。							不可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。





～堺シティオペラオリジナルバージョン～

# オペラ おこんじょうるり



寂しいもの同士が、運命的な出会いにより  
一時幸せな暮らしを送るが、  
最後は悲劇的な結末で終わる感動的な物語

原作:さねとうあきら  
作曲:林光  
演出:茂山千三郎  
演出補助/構成:坂口 茉莉

## あらすじ

昔ある村に、ひとりぼっちで目の見えない病気のいたこばさまがいた。その家に腹をすかせた“おこん”という子ぎつねが餌を盗みに忍び込んだ。だが、ばばさまは、なけなしの自分の分まで食べさせた。きつねは感謝し、じょうるりの念力で、ばばさまの病気を治してやった。それから二人は助け合って暮らし始めた。ばばさまはおこんのじょうるりに合わせて口を開け、ばばさまが語っているように見せかけた。ばばさまの神通力がうわさとなり、お姫様の命を救った。そして殿様から褒美をいただいた。その帰り道、盗賊に襲われ、おこんはばばさまの身代わりとなって死んでゆく…

## 出演者

こぎつね おこん(ソプラノ)	高嶋 優羽(ダブルキャスト予定)
イタコの ばばさま(メゾ・ソプラノ)	井上 美和(ダブルキャスト予定)
馬子のごんすけ(テノール)	孫 勇太 (ダブルキャスト予定)
獵師のじんざ(バリトン)	柘 貴志 (ダブルキャスト予定)

指揮者	坂口 尚平/藤村 知史	和楽器	調整中(2名)
ピアノ	關口 康祐/木村 貴子		
舞台監督	青木一雄		

## 作品について

ヨーロッパで生まれたオペラが本来のルーツになりますが、日本に伝わる民話を基に日本人の作曲した1幕仕立ての切なくも愉快で感動的な邦人作品。演奏時間は50分で完結するが、堺シティオペラオリジナルでは、過去のウィーン公演で取り入れた林光 Song より数曲(子どもたちのなじみやすい曲)をオペラが始まる前に合唱し、オペラの導入とします。

### 【堺シティオペラとは】

1978年、堺市民が市民オペラとして活動を開始し、それを基盤に1986年、堺市民オペラ協会を発足。以後毎年オペラ定期公演を上演。1989年、堺シティオペラと改称。創設当時から海外の歌劇場やオペラ団体との交流を盛んに行う。2009年、社会的な信用を更に深め責任ある団体としてオペラを通じ、音楽芸術の普及・向上をはかり地域の芸術文化発展に寄与していくことを目標にかかげて法律に準拠した非営利の法人格を取得。



SAKAI  
CITY  
OPERA

## 堺シティオペラ一般社団法人

〒591-8037 大阪府堺市北区百舌鳥赤畑町4-256八光ビル  
tel: 072-254-1151 fax: 072-254-1171

メールアドレス: office@sakai-city-opera.jp  
公式ホームページ: http://sakai-city-opera.jp